

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S27	施策名	ICTの活用（ICT化と業務改革の一体的な取組の実施、情報セキュリティの確保）
担当部課	市長公室情報課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	7 市民から信頼される市政の運営
	行政改革指針・重点課題	4 ICTの活用
	法定受託事務の有無	無
	その他（関係計画、要綱等）	無
施策開始の背景、経緯等		合理的・効率的な行政運営の推進

施策の目的等	施策の内容	（どのような施策なのか） ICT化と業務改革の一体的な取り組みの実施及び情報セキュリティの確保を行う。
	施策の対象	（誰、何を対象にしているか） 職員
	施策の意図	（対象をどのような状態にしたいか） ICTにより、職員が今より働きやすく便利な職場環境を整え、職員の働き方改革を行う。また、ICT化により問題になってくる情報セキュリティの確保も行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組① 職員の情報セキュリティに関する知識向上（職員研修の実施）				
	R1年度（2019）	R2年度（2020）	R3年度（2021）	中期（おおよそ3年後）	長期（おおよそ5年後）
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	新規採用研修（22人） 職員研修（一般職）（123人） e-Learningの実施（414人/478人中受講） 職員研修（管理職）（89人） 標的型攻撃メールの訓練の実施	新規採用研修 職員研修（一般職） e-Learningの実施 職員研修（管理職）	新規採用研修 職員研修（一般職） e-Learningの実施 職員研修（管理職）	新規採用研修 職員研修（一般職） e-Learningの実施 職員研修（管理職）	新規採用研修 職員研修（一般職） e-Learningの実施 職員研修（管理職）
	費用・実績 （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）
	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
	市民参加数・実績 （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人

目標・成果推移等②	施策に係る取組② AI・RPAの運用				
	R1年度（2019）	R2年度（2020）	R3年度（2021）	中期（おおよそ3年後）	長期（おおよそ5年後）
	成果・実績	成果・目標	成果・目標	成果・目標	成果・目標
	職員に対しAI・OCRについての勉強会を実施のべ24人参加	AI・RPAについて愛知県 の共同運用（調達）に参加 AI・RPAで活用できる庁内 業務を洗い出し	各課既存業務に対し、 AI・RPA導入に向けての 取り組み支援	各課既存業務に対し、 AI・RPA導入に向けての 取り組み支援	各課既存業務に対し、 AI・RPA導入に向けての 取り組み支援
	費用・実績 （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）	費用・見込み （細々節名） （金額）
	特になし	AI活用システム使用料 2,316千円	AI活用システム使用料 2,316千円	AI活用システム使用料 2,316千円	AI活用システム使用料 2,316千円
		AI活用システム設定委託 578千円			
	市民参加数・実績 （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人	市民参加数・見込み （延べ） 0人

活動状況	（活動のエピソード、コメント、特記事項など） 事務作業効率化について注目を集めているAI・OCRについての勉強会を職員向けに開催した。AIは思い通りになる便利な物ではなく、指示されたアルゴリズムに対して単純作業を行うものであることが伝えることができたのと同時に、なかなか専門的な内容になってしまい、職員の中には全く理解できなかった者もいた。セキュリティ対策面では、例年通り職員研修を行った。
------	--

改善状況	改善ポイント	（何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど） 情報セキュリティ対策の一環として例年行っている、標的型攻撃メールの訓練を今年は年に2回行った。見覚えのないメールが届いたら情報課に報告するように徹底することを目的とした。また、上記にも記述しているが新しい試みとしてAI・RPAの勉強会を行った。
------	--------	---

評価	評価・課題	（進捗状況や課題など） E-Learningに関しては職員の約87%の受講が確認できた。また、標的型攻撃メールの訓練では、報告があった課が43%と、報告状況としては少なめであった。今後の課題としては、さらに職員のセキュリティの意識向上に向け、怪しいメールが届いたり、パソコンが不審な挙動をした場合は、すぐさま情報課に連絡する意識を高めることに努める。
----	-------	--

費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	（施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など） 職員に対する研修や、勉強会は今後のICT化に係る重要なことである。さらには、主催者である情報課職員もこういった研修や勉強会を開催することによって、問題点であったり現状を整理するよい機会であるため、費用対効果はとも高いと分析する。
-------	------------------	---

今後	今後の方向性、改善点	（施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など） 今後はAI・RPAの本格導入に向け、AI・RPAにさせることができる業務の洗い出しを各課で行っていき、令和3年度には実際に導入し試運転をしていきたい。
----	------------	---

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・中期財政計画を踏まえ、また行政改革指針に基づき、AI、RPA等の有益性や効果などを検証したうえで、事務の効率化、行政サービスの向上等を図るよう取り組むとともに、情報セキュリティの確保に引き続き取り組んでください。 ・新型コロナウイルス感染症の予防対応に係る新しい生活様式（仕組み）として、在宅勤務やリモート会議などでICTの活用がより求められるため、研究・検討を進めてください。
------	--------------------	---

内部意見への回答	
----------	--